

令和2年度

第8期印西市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画策定委員会第4回会議 議事録（概要）

開催日時：令和2年12月16日（水）午後1時30分～

開催場所：印西市役所附属棟 23会議室

次第

- 1 開 会
- 2 議 題
 - (1) 第8期高齢者福祉計画及び介護保険事業計画（素案）の検討について
（2回目）
 - (2) その他
- 3 その他
- 4 閉 会

出席者：藤田裕介委員（議長）、武田好子委員、大井道代委員、樋口宗司委員、石田君枝委員、正畑洋子委員、柴田勇介委員、五十嵐順郎委員、蓮実篤祐委員

事務局：青木高齢者福祉課長、谷川係長、松田係長、河合係長、内藤係長、松本、井口
アドバイザー（株）ジャパンインターナショナル総合研究所

会議資料：会議次第、第8期印西市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画（素案）

議事内容

事務局	<p>定刻となりましたので、「第8期印西市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画策定委員会第4回会議」を開会いたします。</p> <p>本日、大沢委員、近藤委員、永田委員につきましては、所用のため、欠席する旨の連絡をいただいております。</p> <p>なお、本日の会議につきましては、会議録作成の都合上、録音させていただきますことをご了承願います。</p> <p>印西市市民参加条例施行規則第11条に基づき、会議は原則公開でありますことから、2名の傍聴人の方が、すでに入室いただいておりますのでご報告いたします。</p> <p>また、本日、計画策定支援業務を委託しております、(株)ジャパンインターナショナル総合研究所より担当者を呼んでおりますので、アドバイザーとして同席させていただきますことをご了承ください。</p>
-----	--

	<p>それでは始めに議長にご挨拶をお願いいたします。</p> <p>(議長あいさつ)</p>
事務局	<p>次に、資料の確認をさせていただきます。</p> <p>○第8期印西市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画策定委員会第4回会議次第</p> <p>○資料「第8期印西市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画（素案）」を事前に送付させていただいております。</p> <p>また、現行計画である「第7期印西市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画」桜色の冊子はお持ちでしょうか。</p> <p>もし、お手元に無いものがございましたら、お申し出ください。</p> <p>よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、議長、議事進行よろしく申し上げます。</p>
議長	<p>それでは、次第にしたがい、議事に入ります。</p> <p>「第8期高齢者福祉計画及び介護保険事業計画（素案）の検討について（2回目）」を議題（1）といたします。事務局より説明をお願いします。</p> <p>(事務局説明)</p>
議長	<p>ただ今、事務局から説明がありました。委員の皆様、何かご意見・ご質問がありましたら、お受けいたします。</p>
A委員	<p>P57の「①緊急通報装置設置等サービス」についてです。私は民生委員をしております、地域の高齢者の方に通報装置の設置を呼びかけているのですが、市が行っているこのサービスについては協力員を2～3名選ぶ形になっていると思います。そのうち1名は民生委員ですが、近隣の方に協力員になってもらうことをご自身で頼みにくいなどのご意見が多数あります。アルソックやセコムなどをお願いする方法であれば協力員を依頼する苦労が無くて済む、そういうことをできないかという質問も寄せられます。この辺りについてどう考えているか、お聞かせ願えますか。また、「現状・課題」に協力員のことを載せる方向でご検討いただければとも思います。</p>
事務局	<p>協力員がなかなか見つからないということは前からの課題でございますので、その点につきまして「現状・課題」に追記させていただきたいと思っております。</p>

	<p>アルソックやセコムには確かに駆けつけサービスというものがありますが、市域全体をカバーすることは難しいと業者から言われております。その辺りをクリアできれば検討も可能かとは思いますが、やはり地域の方とのつながりを大事にしていきたいという面もございます。本来でしたら協力員をご自分で探す自助努力をお願いしたいところですが、その辺りが課題でもありますので、考えていきたいと思っております。</p>
A委員	<p>松戸市では市の負担でアルソックやセコムにお願いしています。この方たちは常に地域をパトロールしているので、異常があった場合すぐに駆けつけられるというメリットがあるそうです。協力員といってもいつも家にいるとは限りませんので、ご検討をお願いしたいと思います。</p> <p>P 6 3の「④民生委員による見守り活動」の「現状・課題」に「地区住民の高齢化、働き世代の増加等により後任民生委員が不足しており、民生委員の欠員地区も増加傾向にあります。」と書かれています。確かにそのとおりなのですが、もう少し違う表現はありませんか。どのような文言がよいかはまた検討したいと思います。</p>
議長	<p>他にいかがですか。</p>
B委員	<p>この委員会における私の一番の関心事は来年からの介護保険料が幾らになるかです。前は200円上がりましたが、できれば今回もその程度の上昇で抑えてほしいと被保険者の一人として願うところであります。P 8 2に総給付費が載っていますが、どのように算定されたか、そのプロセスを教えてください。この数値が妥当かどうか知りたいので、算定の根拠を丁寧に説明してください。</p>
事務局	<p>過去のサービス給付実績をベースに、その上がり幅や認定者数の伸び等を総合的にみて、見える化システムを用いて算定しております。</p>
B委員	<p>それでは過去の実績を教えてください。印西市の過去3年間のトレンドを出せば妥当な金額が出てくるはずです。もう少し詳しく説明してください。</p>
事務局	<p>P 2 1～2 2に「サービス別給付費の状況」ということで、平成27年度から令和元年度までの実績値を掲載しております。総給付費につきましては、平成27年度が37億1,344万9,265円、令和元年度が42億3,995万8,633円です。</p>

B委員	来年度のサービス給付費はなぜ49億9,527万1,000円になるのですか。
事務局	令和元年度の実績と比べますと約8億6,000万円の上昇になりますが、一番大きな要因としましては、来年の5月に予定している特別養護老人ホームの新設ということがございます。それによって給付費の上昇が見込まれます。
B委員	それは詭弁で全然現実を見ていません。印西市の介護保険特別会計は平成29年度が46億500万円、平成30年度が48億7,700万円、令和元年度が51億7,600万円で、平成30年度から令和元年度までの伸び率が6.1%、その次が5.9%です。ということは令和元年度の51億7,600万円に6%を掛けるのがトレンドで、そうすると来年は54億8,600万円になるはずですが、見通しが甘いと思うのですが、この辺り検証されていますか。
事務局	介護保険特別会計はあくまでも給付費がメインで、それ以外の部分を含んだ見込みが先ほどおっしゃった54億ほどの金額になるかと思います。
B委員	その辺りの検証、分析をしておかなければなりません。数字の根拠があやふやというのは非常にまずいと思います。
議長	確認ですが、特別会計の中に給付費が含まれていますよね。これ以外に何が加算されて特別会計の予算額になるのですか。
事務局	介護サービス給付費が大部分を占めていますが、それ以外には例えば予防事業等、市で行っているサービス外の事業を含めたものを介護保険特別会計としております。介護保険料の基となる金額につきましては特別会計の中から抽出し、実績を見ながら計算いたします。
B委員	今の質問に私が正確にお答えします。令和2年度の議会で介護保険特別会計補正予算が出ています。補正前は合計54億8,800万円で、内訳は総務費が6,500万円、保険給付費が50億8,500万円、地域支援事業費が3,059万円、保健福祉事業費が204万円、諸支出金が101万円、予備費が100万円となっています。印西市の補正予算は2億1,30

	0万円です。この時の保険給付費は50億8,500万円だと思うんです。だから、あ、そうか、合うか。
議長	先ほど話に出ていた見える化システムというのは、国の計算式のようなものでしょうか。
事務局	厚生労働省で作成した算定のシステムがありまして、全国の自治体さんがそれを用いて予算を出しておられます。
議長	国のお墨付きのシステムを使って算定した結果この数値になりました、というような文言を入れておくのもありかと個人的には思います。他に何かございますか。
A委員	P62の「③緊急情報等の提供に関する高齢者等地域見守り支援」についてです。新聞販売店やガス会社と連携する旨が書かれていますが、新聞を取っておらずオール電化にしてガスを使っていない高齢者世帯が多く、現実に即していないと思います。他に覚書を交わしている事業所はありますか。
議長	確かに新聞を取らない家庭が増えています。他の業種で高齢の方を見守る覚書を交わしている所があれば是非教えていただきたいと思います。
A委員	私の担当地区で孤独死された方はやはり新聞を取っておられず、ヘルパーさんが訪問した際に発見となりました。近隣の方が気付いた例としては郵便受けに配布物がたまっている、一日中電気がつけっぱなしということがあります。配食サービス等の高齢者が日常的に利用している事業者と覚書を交わすほうが現実に即していると思います。
事務局	新聞販売店、ガス会社の他に保険会社、コンビニエンスストア等10団体ほどと提携しております。
議長	新聞販売店だけでは今の世の中と乖離があるような気もするので、この辺りの文言を再考していただければと思います。他にございますか。
B委員	P89に「(2)ケアプランの点検」とあって、平成30年から令和2年までの実績が載っています。ただ、令和2年は見込みですよね。コロナの関係で36件とはならないのではないのでしょうか。

事務局	個別に居宅介護支援事業所のケアマネジャーに確認しておりますので、ほぼ予定どおりに行えています。
議長	他に何かございますか。
B委員	<p>P56の「④高齢者クラブの支援」についてですが、担当は社会福祉協議会なのに社協のホームページに全く載っていません。つまり、社会福祉協議会は高齢者クラブを自分たちの活動とみなしていないわけです。印西市のホームページで調べると、平成30年まで高齢者クラブに対して助成金を510万ほど出していたことがわかりました。社会福祉協議会と市の高齢者福祉課が互いに押し付け合っているように思います。そのような状態であれば、無理して会員数を増やす計画を立てる必要はありません。直近3年間の実績が2,000人台から1,900人台へと右肩下がりなので、それにならって計画値も1,900人台でよいと思います。今の高齢者は生涯学習のサークルに入っており、その人たちに聞くと高齢者クラブには絶対に入らないと言っていました。生涯学習のサークルにはそれぞれ目的がありますが、高齢者クラブにはないからです。現状右肩下がりなのに全く事実と反するような計画を立てるのはいかななものかと思えます。</p>
A委員	<p>確かに趣味のサークルに参加する高齢者も多くなっていますが、運転免許返納などで活動拠点に行くまでの交通手段の確保がなかなかできず、参加が難しくなってきたという方もいらっしゃると思います。その点、高齢者クラブは地域の仲間の集まりで、生きがいを持って参加している方がおられるという事実もあります。役員が回ってくることを理由に加入をためらう方もいらっしゃるかもしれませんが、高齢者は活動の幅が狭まるような状況になりがちですので、そういう意味からも身近な地域での活動という高齢者クラブの必要性はあると思います。現在加入者が減っている状況ではありますが、市の方向性としてそこを充実させるという目的は持ったほうがよいと私は考えます。</p>
B委員	<p>私は自分の地区に高齢者クラブをつくらうとしたのですが、周りの協力が得られませんでした。隣のクラブから推薦をもらう必要があったのですが断られ、つくれなかったという経緯があります。</p>

A委員	現実として、地域の仲間が集まっての活動は必要ですよ。
B委員	近隣での助け合いや見守りのため、確かに自治会や高齢者クラブの存在は重要だと思います。でも、印西市の皆さんにそれが必要だというポリシーが全然感じられません。
議長	高齢者クラブに関して市として行っていることがあれば教えていただければと思います。高齢者クラブをつくる際に規約があるようですが、それは市が管理しているのですか。それとも社会福祉協議会で規約を作成されているのでしょうか。
事務局	<p>貴重なご意見ありがとうございます。事務局としても耳の痛いお話だと感じております。計画の冒頭に「地域包括ケアシステム」と掲げておりますように、やはり地域のつながりは必要不可欠なものでございます。具体的な取り組みは検討中でございますが、高齢者クラブも含めた形で地域のつながりが形成できればと思います。</p> <p>高齢者クラブをつくる際の規約についてですが、厳しい縛りはないと認識しております。</p>
議長	<p>必要性はあるのかもしれませんが、少なくとも数値は見直すほうがよいと思います。また、「今後の方向性」もこれだけでは不十分です。できればこの中にお二人の委員がおっしゃったような内容を少しでも反映できるよう、ご検討をお願いしたいと思います。</p> <p>他に何かございますか。</p>
C委員	<p>「現状・課題」についてですが、第7期から内容がほぼ変わっていない箇所があります。「今後の方向性」を読んでも、印西市として何をしたいかがわかりません。国から介護保険の計画を立てるようになって言われているから、とりあえずそれにならっているような印象です。「施策の方向1-3 認知症施策の推進」にある「③人材育成」「④認知症サポーター養成」は福祉の専門家がいなければできないものであるのにこのように掲げてあって、つじつまが合わないと思います。他のところも第7期と似たり寄ったりで変わっていない感じを受けます。国から言われて計画を策定しているというのであれば、この委員会を開く意味がないと思います。市としての熱い想いを聞くことができれば現場としても頑張れるのですが、委員の質問に対してもその場しのぎの回答で、それが残念です。</p> <p>来年4月の改定で介護保険報酬が0.7%増という発表がありましたが、全体で0.7%ですから、それほど上がりません。全部のサービスを合わせ</p>

	<p>て0.7%なので、上がるものもある反面下がるものもあります。そう考えると、例えば先ほどの人材育成の件で職員を出してくださいと言われても難しいのが現状です。市から頼まれれば何とかしなくてはと思って出しますが、逆にこの計画の中で福祉施設に対して何かしてくれるのかと言えば、そんなことはありません。介護施設があつてこそ高齢者やその家族が助かっている面があると思いますが、閉鎖間近、つぶれそうな在宅サービスの事業所が結構あります。今度29床の小規模特養を設立するそうですが、介護現場から言えば手を挙げる事業所はないと思います。すでに印西市には100床の特養があるわけで、本当に小規模特養が必要なのか疑問です。今、印西市には外国人技能実習生がどんどん入ってきており介護現場でも受け入れています、うちではベトナム人を5人ほど雇わなければ現場が回らない状態で人員がひっ迫しています。この状況で人材育成のために職員を駆り出せるかと言えばそれは無理です。こういう負のスパイラルに陥らないよう、もう少し考えていただければ有り難く思います。</p>
事務局	<p>介護事業所における人材確保の必要性は強く感じております。福祉の現場の魅力を学生さんなどに対してアピールしまして、市内の介護保険事業所に就職してもらえるよう、こちらも努めていきたいと思っております。また、訪問看護や訪問介護の事業所も人材の確保が大変だと聞いておりますので、市内に眠っている人材の発掘に努めていきたいと考えているところでございます。</p>
C委員	<p>アピールするにしても施設の職員が出向く必要があると思っております。でも、その人員を出せません。成田国際福祉専門学校の学生さんに聞いたところ、学生30人中日本人は10人しかいないそうです。だから外国人に頼るしかありません。印西市に眠っている人材を発掘していただくのはよいのですが、他市の給与が高い所へ流れてしまいます。だから他市との差別化を図る必要もありますが、市と協力していかなければ何もできないと思っております。</p>
事務局	<p>少子化で若い人が減っているため、ある程度外国の方たちに頼らざるを得ない面はあると思うのですが、その中でもできるだけ人材確保に努める必要があると認識しております。協力し合っていきたいと思っておりますので、是非とも市の事業へのお力添えを今後ともよろしくお願いいたします。</p> <p>人材育成や認知症サポーター養成の話も出しましたが、こちらもこれまでの対応だけではサポートが難しくなってくると思っております。これまでは小学校での養成に力を入れてきたのですが、今後は大人や企業にも広めていき</p>

	<p>まして、市全体でのネットワークをつくりたいと担当者と話し合っているところでございます。ただ、この文面だけではこちらの熱い想いを伝えきれません。取り組み始めているところでございますので、是非とも委員の皆様のお知恵を拝借できればと思います。</p>
C委員	<p>コロナ関連で言えば、近隣市の施設ではPCR検査を職員や新規入所者にも実施しています。しかし、印西市ではそういうことはありません。安全性を考えると、やはり検査体制が整備されている近隣市に行かれてしまい、印西市に人材が集まらなくなります。そこも含めて人材育成や確保を考えていく必要があります。感染症対策として高齢者がたくさんいる施設に市がどの程度協力してくれるかなどについて、もう少し考えてもらえればと思います。</p>
事務局	<p>P64の「(3) 感染症予防対策の推進」にもう少し具体的な内容を記載すべきというようなご意見だと思います。今のお話は健康増進課にも関係のある内容ですので、1月15日のパブリックコメントまでの間に健康増進課に確認しつつ文言の修正を図ってまいります。</p>
A委員	<p>印西市には比較的施設がどんどんできていますが、その中で働く人が見つからず、施設を造ったものの稼働率は半分という声を聞いています。市も努力していると思いますが、具体的なところが見えないようでは現場の方が頑張れないのは当然のことです。印西市としてこれだけは事業所のためにバックアップしますというようなことをどこかに入れていただければと思います。</p>
議長	<p>できるところから、是非よろしく願いいたします。</p>
B委員	<p>C委員がおっしゃったことに全く同感です。法律でこの計画をつくるのが決まっていて、お役所仕事としてこなしているだけだと思います。結局、何が問題かという市長です。印西市は牧の原を中心に人口がどんどん増えて税収が多いため、財政も潤っています。でも、そのお金を何に使っているのでしょうか。印西市は経済的には日本一豊かなまちと言われていますが、安全、医療、介護、子育てに関してはそうではありません。印西市を本当に住みやすいまちにするために安全、医療、介護、子育てにお金を潤沢につぎ込むよう市長に舵を切ってほしいですし、できればこのことを委員会の決議として市長に伝えていただきたいと思います。</p>

A委員	市長も現場の声の具体的なイメージが湧かない部分があるかもしれないので、この機会に伝えてはどうかと思います。市民としては安全・安心で長く住みたいまちであってほしい気持ちがあるので、そういう意味でも高齢者対策というのは大事なわけです。市民の声を伝えない限りわからない部分もあるかと思っています。
B委員	印西市のトップは医療、介護、高齢者福祉に目が向いていないような気がします。移動型のPCR検査所を導入されたそうですが、そのアナウンスもほとんどありません。市のトップに医療、介護、高齢者福祉に目を向けてくださいと叫びたい気持ちでいっぱいです。
議長	委員の皆さんからお話しいただいた厳しい現状に市長がもう少し目を向けてほしいというようなご意見がございました。この委員会として市長に伝えたいというご提案もありましたが、この点についてはどうですか。
D委員	全く同感です。
E委員	やはり現場の意見を聞きながら今後の取り組みを進めていただきたいと思います。
議長	市長に対する要望としてはいかがですか。
E委員	要望を市長に出してこそわかっていただけのもあると思います。
F委員	コロナ禍で医療者が疲弊しているという報道を連日耳にしますが、介護者の方も大変です。もっと報われてほしい職業だと思います。やはり行政の支援がなければ長続きしないのではないのでしょうか。だから、できる範囲で皆が協力し、そういう声を上げていく必要があると思います。
議長	この委員会として市長に意見を伝えることについて、C委員はいかがですか。
C委員	100歳を迎えた方への表彰状を市長が持ってきた際、現場を見学する、あるいは困っていることを聞いてくれてもよいのではないかという思いが確かにあります。高齢者福祉だけでなく障がいや子どものことも含め、トップが現場の状況を理解したうえでの施策を考えていただくよう、この委員会で伝える絶好の機会だと思います。

G委員	<p>市長に声を届ける機会というのはなかなかありませんので、この委員会としての意見を聞いてもらうだけでもよいのではないのでしょうか。担当課の方との関係性は維持できているので要望はお伝えしていますが、課だけではどうにもならないところも組織上ありますので、トップの方の意識が変わっていけばとも思います。</p>
A委員	<p>高齢者福祉の事業者やそこで働いている人たちの権利を守ることと生活の保障が必要です。幾ら計画をつくっても事業者の撤退や従業員がいなくなるというのでは何にもならないので、どこかに事業者のバックアップ体制についての文言を載せてはどうかと思います。印西市としての方向性をしっかり示すことが大切です。</p>
議長	<p>福祉事業、介護事業に携わっている方をサポートしていく方針を一文入れてはどうかというご提案でした。この辺りも加えていただくと事業者の方々の力になり、市民の方にもより伝わるかと思います。</p> <p>C委員からのご提案の件ですが、皆さんにご同意いただけたと受け止めました。市長にも現場の疲弊を知っていただき、今まで以上の支援をお願いしたいということをこの委員会としてお伝えしたいと思います。</p>
事務局	<p>先ほどC委員からベトナム人の方を受け入れているというお話がありましたが、他の特養さんでも今月からモンゴル人の方、グループホームさんではミャンマーの方を受け入れていると伺っております。成田国際福祉専門学校でも今は外国人と日本人が半々だが恐らく将来的には外国人が7割を占めるだろう、外国人を受け入れなければ成り立たないという話を先生からお聞きしました。訪問介護事業所のスタッフも60代や70代の方が主な中、自分がコロナに感染したらどうしようということで離職される方が増え、かなり厳しい状況であると伺っております。そのような文言を本計画にどこまで入れられるかわかりませんし、また、実際に動こうとすれば予算が絡むケースもございます。ただ、第8期、第9期とつながっていく話でもございますので、外国人人材の確保等に関わることを継続的な検討課題としていきたいと思います。</p>
議長	<p>他によろしいですか。</p> <p>では、次に移ります。「その他」を議題(2)といたします。委員の皆様、何かございましたらお願いいたします。</p>
H委員	<p>後期高齢者は保険証が毎年更新されますが、新たな保険証を郵送する際に市のサービスとして取り組んでいることを書いたものやハザードマップ</p>

	も同封してはどうでしょうか。
議長	現状はどうなっていますか。おわりの範囲で結構ですので教えてください。
事務局	「高齢者福祉のしおり」という冊子を70歳、80歳といった節目の年齢を迎えられた方に送らせていただいておりますが、今ご提案がありましたように保険証送付の際にも同封したいと思います。 ハザードマップにつきましては担当課に伝えておきます。
議長	よろしく願いいたします。
A委員	ハザードマップについては各世帯に配布されています。紛失等で持っていないという場合でも役所に言えばもらえます。避難についての心構えや注意事項、この地区の方の避難所はここということなどが載っている防災のしおりを作成し、市民に配布していただいてもよいかと思います。
事務局	今のご意見も担当課に伝えさせていただきたいと思います。
議長	よろしく願いいたします。 他によろしいですか。 では、以上をもちまして本日の議事を終了いたします。